

ガムランと和楽器

～境界を超えて～



2024年2月4日(日)

14:00開演 (13:30開場)

洗足学園音楽大学シルバーマウンテン2階

入場料2,000円 全席自由／要予約 (4歳以上入場可)

お問い合わせ 0204premium49@senzoku.ac.jp



プログラム

- 第一部 ガムラン・ドゥグン伝統曲
ルー・ハリソン "Bermain Samasama" (尺八、笛、ガムラン)
ルー・ハリソン "Serenade" (ガムラン)
- 第二部 藤枝守 ダブルコンチェルト (箏、笙、ガムランによる)
藤枝守 ピアノコンチェルト1番 (ミニピアノ、ガムランによる)

企画・進行

森重行敏 (洗足学園音楽大学現代邦楽研究所所長)

演奏

パラグナ・グループ (ガムラン・ドゥグン)
野澤佐保子 (箏)、大河内淳矢 (尺八)、馮蕊 (笛)
石川高 (笙)、砂原悟 (ミニピアノ)



パラグナ・グループ (ガムラン・ドゥグン)

1985年結成。インドネシア・スダ(西ジャワ)音楽のグループとして、東京を拠点にガムラン・ドゥグン、トゥンバン・スダの演奏活動を行っている。スダの音楽家との共演も多く、インドネシアのガムラン・フェスティバルに多数参加。古典曲のほか、ルー・ハリソンや藤枝守作曲の現代作品も精力的に演奏し、幅広い活動を展開している。2021年、CD『ガムラン曼荼羅／藤枝守』(MAM-0003)をMilestone Art Worksより発売。YouTube「Paragunaチャンネル」を開設し随時配信中。

野澤佐保子 (箏)

幼少より生田流箏曲の手ほどきを受け、後に現代奏法を福永千恵子氏に、古典地歌箏曲を芦垣美穂氏に師事。賢順記念全国箏曲コンクール第一位賢順賞受賞ほか受賞多数。これまで3回のリサイタルを行い、毎年邦楽コンサート企画公演を開催。学校へのアウトリーチにも積極的に取り組んでいる。「やさしい箏入門」(ドレミ楽譜出版社刊)執筆。洗足学園音楽大学非常勤講師、現代邦楽研究所講師、桐生大学附属中学校非常勤講師、NHK邦楽技能者育成会同窓会合奏団現代邦楽"考"団員

大河内淳矢 (尺八)

桐朋学園芸術短期大学日本音楽専修卒業。NHK邦楽技能者育成会55期卒業。自作曲を中心に演奏活動を行うほか、和楽器の世界を越えたアーティストとの共演も積極的に行う。海外公演を多数成功させ外務省在外公館長表彰を授与される。イベントや楽曲プロデュースも手がける。2017年より尺八とフルートを融合した楽器“オークラウロ”の奏者としても活動している。洗足学園音楽大学非常勤講師。現代邦楽研究所講師

馮蕊 (笛)

中国河北省出身。10歳より中国の笛子を始める。湖南女子学院音楽専攻卒業、洗足学園音楽大学大学院卒業、日本大学芸術学部芸術専攻在籍中。日本の笛と音楽について、理論と実践の両面から研究と実践を深めたいと考えている。

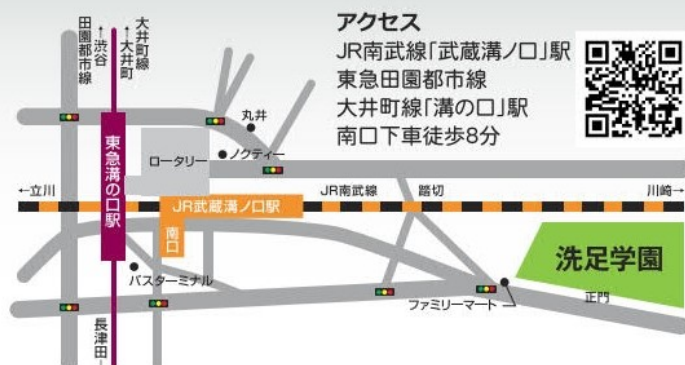
GUEST

石川高 (笙)

1990年より笙の演奏活動をはじめ、国内、世界中の音楽祭に出演してきました。雅楽団体「伶楽舎」に所属し、雅楽古典曲や現代作品を数多く演奏しています。笙の独奏者としても、様々な音楽家、作曲家と共に活動し、また即興演奏も行ってきました。和光大学、学習院大学、沖縄県立芸術大学にて講義を行っています。文化勲章を受賞された芝祐靖先生によって開設された、朝日カルチャーセンター古代歌謡講座を継いで、二十年にわたり講師をつとめてきました。

砂原悟 (ミニピアノ)

東京藝術大学卒業、同大学院修了、DAAD奨学生としてミュンヘン音楽演劇大学マイスタークラス修了。1984年日本音楽コンクール入選。87年ポルト市国際ピアノコンクール入賞。88年クロイツァー賞受賞。2008年マイルストーン・レーベルよりリリースの『クラヴィコードの植物文様』(藤枝守作曲)はレコード芸術誌で準特選。22年12月アクロス福岡 円形ホールにて藤枝守のガムラン・コンチェルトを初演。宮島敏、中山靖子、クラウス・シルデ、小林仁に師事。京都市立芸術大学教授。



お問い合わせ 0204premium49@senzoku.ac.jp
SENZOKU コンサートガイド www.senzoku-concert.jp

※写真・ビデオの撮影および録音は固くお断りいたします
※駐車場はございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください
※公演内容は変更になる場合がございます

主催 洗足学園音楽大学・大学院
後援 「音楽のまち・かわさき」推進協議会

